

事例5 Windows NT編

Windows NT 用メールサーバソフトウェアの紹介

法学部公共システム学科 太田 則夫

最近ようやく、Windows NT 用のメールサーバソフトがいくつか見られるようになりました。その中でも今回は無料で使用できる NT 用メールサーバを2つ紹介します。

1. インストール前に DNS(Domain Name Server)に登録する

最寄りの DNS に、これからメールサーバにするマシンの名前を登録してください。また、MX レコードで、その登録するマシンで処理するメールの宛先を指定してください。例えば、マシン名を mbox、ドメイン名を soc とします。mbox に登録されたユーザ user1 のメールアドレスが、user1@soc.kanazawa-u.ac.jpとなるか、user1@mbox.soc.kanazawa-u.ac.jpとなるか MXレコードの指定で決まります。これに関しては DNS の管理者に相談してください。

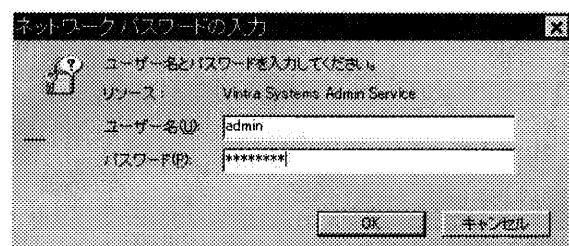
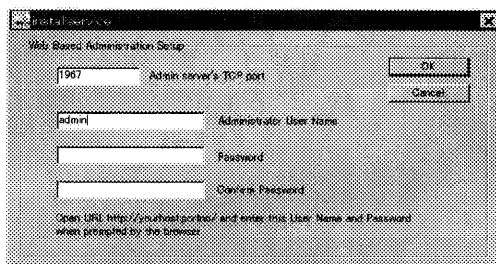
2. Vintra Systems Mail Server Professional Version 2.02

1つのドメインで、1サーバのみ無料のソフトです。商業ベースで開発されたため、かなり多機能です。スパム対策を有し、IMAP4 サーバの機能もあります。ただし、残念ながらメーリングリストの機能はありません。最新バージョンの ver.2.5 はシェアウェアです。

2.1 インストール

Vintra 社ホームページ(<http://www.vintra.com/>)の”Download free version”をクリックするとインストールプログラムの mailsrvrpro.exe(約 8MB)をダウンロードすることができます。このプログラムをダブルクリックすると早速インストールが開始されます。インストール終盤になると、メールサーバを WWW ブラウザで制御するためのポート番号と管理者および管理者のパスワードの入力を促します。管理者は、NT ユーザとは関係ないため、任意に入力することができます。

ポート番号は Well-known ポート番号¹以外を入力してください。とりあえずはデフォルトの 1967 ままにし



¹ Well-known ポート番号: telnet や ftp など代表的なサーバプログラムが使用する標準のポート番号。

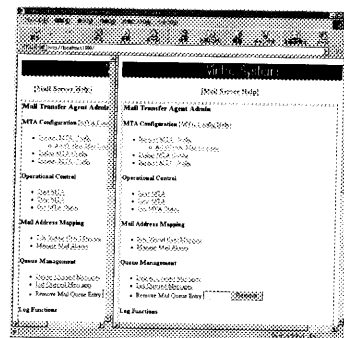
ておき、インストール終了後に改めて変更することになります。

最後に管理者名とパスワードを確認するダイアログが表示されます。これを入力するとインストールが終了し、今度はメールサーバの設定を設定するために WWW ブラウザが起動します。

2. 2 設定

設定画面は、左右2つのフレームで表示され、左画面は設定の目次で、右は入力画面となります。設定項目は次のように3つに分かれています。

- Mail Transfer Agent Admin: SMTP サーバの設定及び起動
- IMAP4/POP3 Server Admin: IMAP4/POP3 サーバの設定及び起動
- Manage Mail User Accounts: メールユーザの登録及び管理



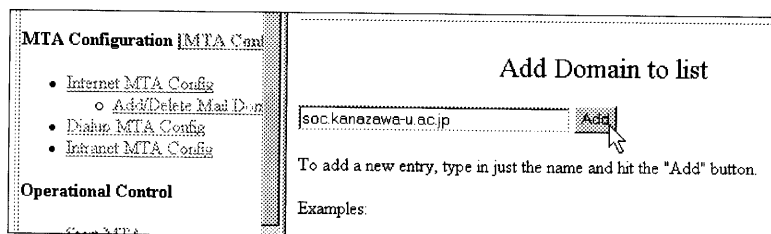
1) MTA Configuration

MTA Configuration は、SMTP サーバを設定するところで、インターネット用、ダイヤルアップ用、イントラネット用の3つの用途で設定できます。この中から Internet MTA Config を選択します。設定値はデフォルトのままで良く、ページ下の create configuration files ボタンをクリックします。

次に、Add/Delete Mail Domains を選び、このサーバで処理するメールのドメイン或いはメールサーバ名 (DNS で指定した MX レコード) を入力し、add ボタンを押します。

例) soc.kanazawa-u.ac.jp

post.soc.kanazawa-u.ac.jp



2) Spam Management

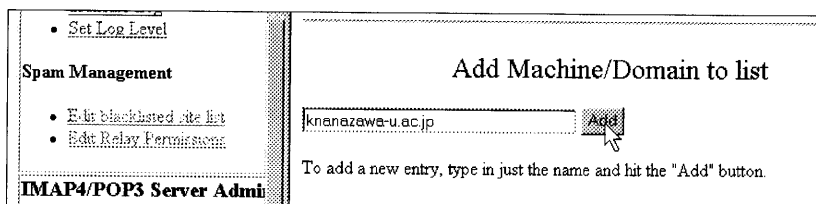
Spam Management でスパム対策を行います。このうち必ず行ってほしいのは、Edit Relay Permissions です。ここを設定することによりスパム送信の主流をなす第三者中継を防ぎます。

メールの送信要請を限定するために、Add Machine/Domain to list に次の値を入力します。

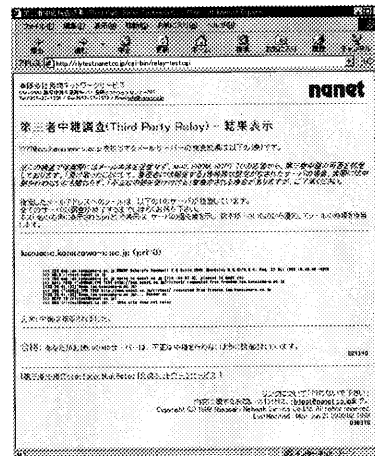
金沢大学内のみ: kanazawa-u.ac.jp あるいは 133.28.

自分の学部または研究室からのみ: soc.kanazawa-u.ac.jp または 133.28.46.

指定し終わったら、MTA をリスタートしてください。



そして、nanet の不正中継確認テスト(<http://rlytest.nanet.co.jp/relaytest.html>)を行なってください。



正常: 中継は拒否されました。

合格: あなたがお使いの MX サーバは、不正な中継を行わないように設定されています。

と表示されれば大丈夫です。

Edit blacklisted site list では、指定するドメインまたは IP アドレスからのメールを受けなくします。

- 例: xxx.com xxx.comドメインからのメールの拒否
- DM.co.jp DM.co.jpドメインからのメールの拒否
- 188.25.48.42 IP アドレス 188.25.48.42 からのメールの拒否

3) ユーザ設定

ユーザ管理には4通りありますが、そのうちの NT Registry Mail Account の方法を紹介します。これはユーザを NT のレジストリに書込んで登録するもので、NT のユーザでなくともメールが使えるようになります。また、この方法のユーザ登録を行なうと、メールのユーザが自分自身のパスワードを WWW ブラウザから行なうことができます。

Mail User Account Configuration (Initial Setup) では、Types of mail users supported のところの NT Registry Mail Account と NT User Accounts をチェックしてください。

そして、ページ末尾の Configure User Management Parameters ボタンをクリックしてください。

Mail User Account Configuration

Fill in the parameters in this form and hit the "Configure User Management Parameters" button at the bottom.

Types of mail users supported:

Mail User Type	Enabled/Disabled
LDAP Directory based user information	<input type="checkbox"/>
SQL User Database accessed using an ODBC data source	<input type="checkbox"/>
NT Registry Mail Account	<input checked="" type="checkbox"/>
NT User Accounts	<input checked="" type="checkbox"/>

NT Registry User Database Management の Add email user account to NT Registry User Database をクリックするとユーザ登録が行なえます。

Mail User Account Login Name でログイン名を入力してください。

次の(1) Home Directory では、登録するユーザのメールをスプールするところを設定します。C:\¥mailbox¥john などと入力します。あらかじめ c:\¥mailbox ディレクトリは作っておいてください。そして、「CreateUser」ボタンをクリックします。“Succesfully created new mail account”と表示されれば大丈夫です。

Mail User Account Login Name	
john	
Mail Store(Choose one of the following three types)	
(1) Home Directory	c:\¥mailbox¥john
(2) ODBC database with database account sharing, i.e. all mail accounts use one database administrator account to store mail	Choose ODBC Database Here
	Choose ODBC Database Here
<input type="checkbox"/> Check	

次に、Change Password of Email User Account in NT Registry User Database をクリックします。ここで登録したユーザのパスワードを設定してください。

Vintra Systems	
Change Existing Mail Account Password	
Change existing mail user's password:	
john	Mail Account User Name
	Type in New Password
	Retype New Password
Change Password	

なお、このメールサーバソフトは、POPPASSD をサポートしていないため、Eudora などのメールクライアントからのパスワードの変更ができません。

2.3 参考

このメールサーバについては、設定画面の Help の他、次のところが参考になります。

- Vintra 社ホームページ(<http://www.vintra.com/>)
- OCN+NT4.0=インターネットサーバ構築術 基礎編の2
(<http://www.hyperdyne.co.jp/~oohashi/work/inet2/01counter/01counter.shtml>)

3. 迷流鯖 Ver.2.xx(ZMailServerVer.2.xx)

迷流鯖は、Windows95,98 および WindowsNT4.0で動作します。日本人によって作られているため、メニュー及びサポートが日本語です。もちろんスパム対策も行われています。またメーリングリストの機能もあります。

3.1 インストール

1) 迷流鯖のダウンロードページ (<http://www.246.ne.jp/~ohsawa/soft/download.html>) へ行き、インストールプログラム(1.5MB)をダウンロードします。

2) Microsoft Internet Explorer ver.5(IE5) がインストールされている場合は 3)の手順へ行ってください。

IE4.0 以降の場合は、http://www.microsoft.com/java/vm/dl_vm32.htm にて Microsoft VM build 3188 for Windows 95/98 and Windows NT 4.0 (7.0 MB)をダウンロードし、インストールします。

3) 次に、ダウンロードした迷流鯖のインストールプログラムをダブルクリックしてインストールします。NTの場合にはインストール終了後、サービスに登録するためにコマンドプロンプトを起動します。そして次のように入力します。

```
> cd c:\program files\ochan\zmailserver (ZmailServer.exe があるフォルダへ移動)
```

```
> ZMailServer -install
```

3.2 設定

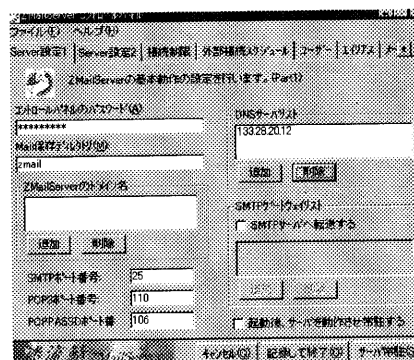
次にスタートメニューより”ZmailServer 起動&設定”を選んでメールサーバの設定を行ないます。

1) Server 設定 1

ここでは、コントロールパネルのパスワードとMail 保存ディレクトリ、ZmailServer のドメイン名、DNS サーバリストを入力してください。

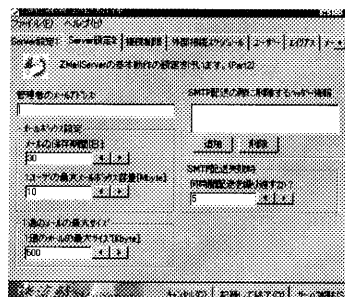
- コントロールパネルのパスワード:パスワードを設定すると、コントロールパネルを起動するたびに、パスワードの入力を行うダイアログが表示されるようになります。マシンを共有する場合は設定してください。
- Mail 保存ディレクトリ:ユーザ情報やメールのスパールデータなどを保存する場所です。ここで指定するに前、あらかじめフォルダを作っておきましょう。
- ZmailServer のドメイン名:このサーバで処理するメールのドメイン或いはメールサーバ名を入力します。
- DNS サーバリスト:近くの DNS サーバ名を入力してください。

あとのポート番号などはデフォルトが良いと思います。



2) Server 設定2

ここでは、メールサーバの管理者のメールアドレスを入力してください。あとはデフォルトのままです。



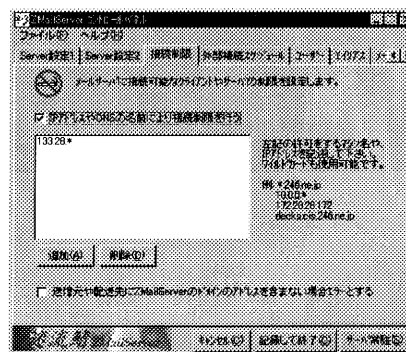
3) 接続制限

ここはスパム対策の第三者中継の禁止を設定するところです。必ず設定してください。「IP アドレスや DNS の名前により接続制限を行う」にチェックを入れます。そして、メールの送信要請を金沢大学内からだけに限定するために

.kanazawa-u.ac.jp あるいは 133.28. またはその両方を指定します。

また、自分の学部あるいは研究室からだけに限定するには

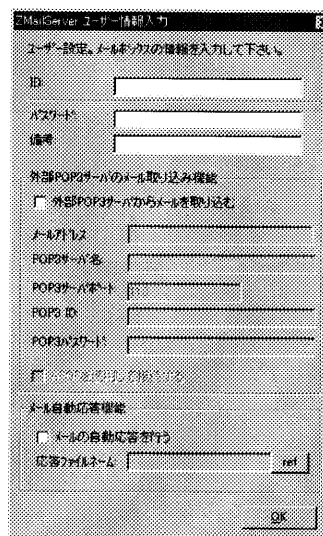
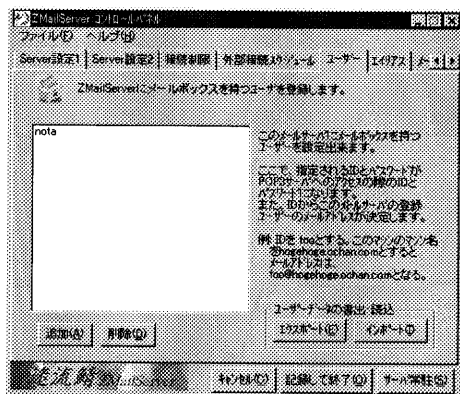
.law.kanazawa-u.ac.jp または 133.28.41. というふう指定します。



設定後は、2. 2 2)で行なったように nanet の不正中継確認テスト(<http://rlytest.nanet.co.jp/relaytest.html>)を行なってください。

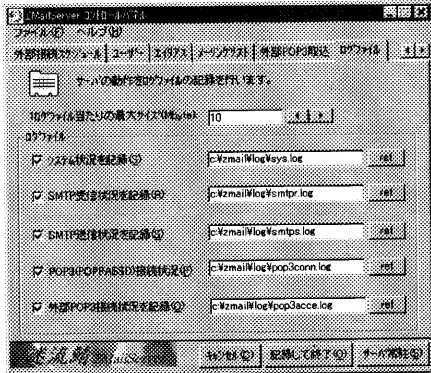
4) ユーザ設定

ここで、新規のユーザを登録します。「追加」ボタンをクリックすると、ユーザ情報入力ダイアログが表示されます。ここで、ユーザ名とパスワードを入力すればユーザの登録が行えます。



5) ログファイル

セキュリティ確保のため、以下のログをすべて取ってください。



3.3 参考

迷流鯖 Ver.2.xx(ZMailServerVer.2.xx)について、このソフトウェアの開発者のホームページが一番参考になります。

<http://www.246.nc.jp/~ohsawa/soft/soft/zmailserver/index.html>

4. SPAM 対策

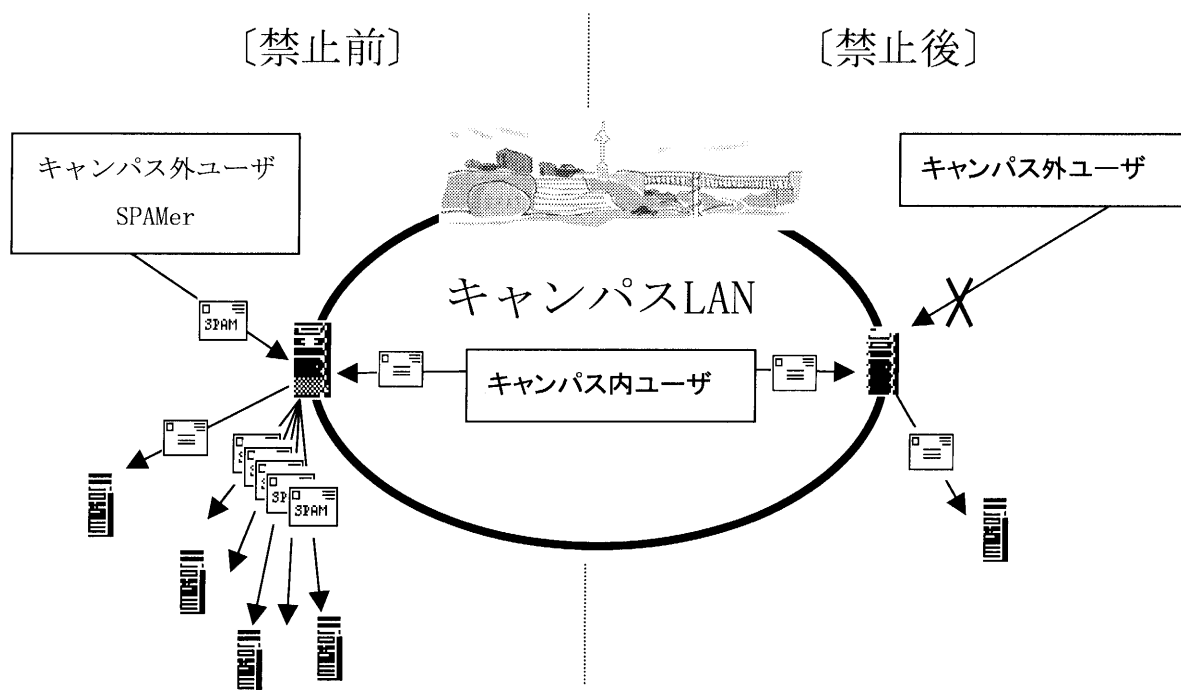
SPAM とは、ねずみ講の誘いやアダルトサイトの広告など不特定多数のインターネットユーザに勝手に送られる不快な電子メールのことです。メールサーバ管理者として、注意すべき点は、これら SPAM を送る人々(SPAMer あるいは spammer)は、自分の発信元を隠すためあるいは、経費節減のため、他人のメールサーバを利用して SPAM を送信します²。もし自分の管理するメールサーバが、SPAMer に利用されると次のような弊害が生じます。

- 一挙に大量のジャンクメールを送信するためディスクスペースやリソースの占有などメールサーバの負担が増大し、本来のユーザのメールを処理できなくなったり、時によってはシステムダウンが起こります。
- ある日突然、「ジャンクメールを送るな」との苦情が寄せられるようになり、その処理にかなりのマンパワーをさかれることとなります。
- MAPS,ORBS³に登録されることにより、大手プロバイダーへのメール送信ができなくなります。

² 受信者も送信者もそのサーバに関係ないメールを中継させることを「第三者中継(Third-Party Mail Relay)」と呼びます。

³ MAPS, LLC (<http://maps.vix.com/>)、ORBS (<http://www.orbs.org/>) とともに、SPAM 対策のため、SPAMer に利用されたメールサーバーや、あるいは利用される可能性のあるメールサーバーを探し、データベース化している団体。

この SPAMer が利用する第三者中継を禁止するためには、先に紹介したメールサーバの設定で行ったように、メールの送信を自分の所属する研究室あるいは金沢大学内からしか行えないように設定することです。もし、SPAMer に自分のメールサーバが利用されたら周りに多大な迷惑をかけますので、メールサーバの管理者は必ず第三者中継の禁止を行い、そしてログを必ずとるようにしてください。



SPAM に関しては、次のところが参考になります。

- SPAM Information Page (<http://caramia.g-net.org/spam/>)
- SPAM と第三者中継 (<http://www.nanet.co.jp/rlytest/index.html>)
- SPAM の現状と対策 (<http://www.ayamura.org/interop98/>)
- 昭和大学のSPAM対策 (<http://ns2.cc.showa-u.ac.jp/cc/spam/index.html>)